

ほっかいどうかじゆのうぎょうしんこうけいかく  
北海道果樹農業振興計画  
そあん がいよう ばん  
素案の概要（やさしい版）

「北海道果樹農業振興計画」は、北海道において「果物をつくる農業」がこれからもより良く成長し続けるため、どのような取組を進めていくかをまとめたものです。

農家さんが、これからも元気に新鮮な果物をつくるため、また、多くの方に北海道でつくられた果物を手に取ってもらうために、「こんなことをしたらいいよ!」と思うことがあったら、ぜひ教えてください!

パソコンやスマートフォンなどから、あなたの意見を簡単に提出することができます!



<https://www.harp.lg.jp/G8MXnVjT>

「おとなのみなさまへ」

この資料は「北海道果樹農業振興計画」の策定に当たって、こどものみなさんの意見を聴くためにつくりました。

ぜひお子様と一緒に読みください。

なお、大人向けの意見募集も行っておりますので、下記ホームページをご覧ください。



<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/kajyu/public.htm>

Q 北海道の「果物をつくる農業」の特徴は?

今から約150年前に七飯町で「りんご」や「ぶどう」をつくり始めたのが最初で、それから時間をかけて北海道全体に広がってきました。

ただ果物をつくるだけではなく、果物と観光とを組み合わせたり、農家さんが消費者に直接販売する「直売」が多く、果物をつくること  
が地域の元気の源になっています。

Q 北海道ではどのような果物がつくられているの？

「りんご」「ぶどう」「さくらんぼ（おうとう）」の3つの果物で北海道全体の果物の面積の8割を占めており、他には「なし」「プルーン」など、多くの果物が農家さんによってつくられています。

Q 北海道で果物をつくる上でどのような問題があるの？

- ①果物をつくる農家さんが減っていること
  - ②最近では毎年、暑い日が多く、大雨も多くなっていること
  - ③鳥やウサギなどの動物に果物や樹が食べられる被害が増えていること
  - ④果物をつくるのに多くのお金がかかること
  - ⑤果物を食べる人や食べる量が年々減っていること
- など、たくさん問題があります。

Q 新しい計画のポイントは何？

農家さんの後継者や新しく果物をつくる人を育てたり、動物から果物や樹を守る取組を進めたりするなど、安定して果物をつくることのできる環境をつくりたい。

また、おいしさや食べやすさ、健康に良いものなどの消費者のニーズにあった果物を多くの方が手にとってもらえるよう、北海道産の果物の情報発信やPRを行います。

そして、北海道において、果物をつくる面積（栽培面積）とつくる量（生産量）の将来の目標を決めています。

果物	単位	現状 (令和5年度)		目標 (令和12年度)
栽培面積	ハクタール	2,819	→	2,870
生産量	トン	17,657	→	19,810